

平成27年度
秩父市社会福祉事業団事業計画

社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団

平成27年度 社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団 事業計画

はじめに

秩父市社会福祉事業団は平成10年の設立以来、平成11年から養護老人ホーム長寿荘の運営を受託し、平成12年からは複合型老人福祉施設「ほのぼのマイタウン」の運営を秩父市より受託しました。その後、秩父市で設置したデイサービスセンターなどの運営も受託し、高齢者福祉・介護の専門組織として成長してまいりました。

事業の運営については、平成18年から県内外の社会福祉事業団が指定管理者や自主経営へと移行する中で、当事業団は事業の殆どを秩父市から受託事業として運営してきましたが、新年度からは事業を指定管理や自主経営に移行してまいります。

この背景には、関係法令の改正等があります。「ほのぼのマイタウン」の建設当時は、市で社会福祉施設を建設する場合でも国・県の手厚い施設整備負担金がありましたが、現在は施設整備や大規模改修に対する補助金は民間法人のみとなりました。事業団も、自主経営に移行すれば補助金の交付を受ける対象となります。また、老人福祉法による措置の時代は、運営費の目的外使用はできませんでしたが、現在は運営効率を上げることにより資金を確保し、新たな施設整備等も行えるようになりました。

当事業団は、設立以来16年余りを経過しました。この間、職員の知識・技術の向上を奨励し、ケアマネージャーが27人、介護福祉士も正職員の半数を超え、看護師、理学療法士、管理栄養士などの専門職員の配置も充実しております。

一方では、今後職員の高年齢化等による経営・運営上の問題を解消するために、新たな施設の整備や新規事業への参入など組織の拡充に取り組むべき時期にきております。昨年は、蒔田デイサービスセンターの増築工事を行い、利用者の増加や事業内容の充実、職員の意識の向上などの効果が見られ、事業の変化・進化の重要性を実感できました。現在、特養の待機者が多いことから、特養の増築について検討してまいります。事業の拡大には、県の施設整備計画、秩父市の介護保険事業計画とのリンクや、関係部局・課との協力体制が重要であり、今後も行政の施策に沿った事業運営に努めます。

団塊の世代が、75歳以上の後期高齢者となる2025年問題が提起されています。4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来することにより、医療・介護・福祉サービスの需要が急速に増加してきます。

秩父市でもこの問題に対応するために、「地域包括ケアシステム」の構築が進んでいます。介護等が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で生活ができるように、当事業団でも在宅サービスの充実や在宅要介護者、家族への支援体制を更に強化していく必要があります。

また、協力病院である秩父市立病院において、地域包括ケア病棟が開設されました。この病棟では、在宅復帰率70%を維持することが一つの条件となります。在宅復帰とみなされる介護施設に特別養護老人ホームがあり、偕楽苑の拡充や受入れ態勢の強化がますます重要となってきます。

当事業団では、超高齢社会に向けて施設・組織の拡充を予定していますが、最も重要なのは将来を担う人材の育成です。今後も関係する各種資格の取得を奨励するとともに、

認知症ケア、事故防止対策、感染症予防、褥瘡防止など各委員会を活性化して、職員全体の知識・技術の向上を図ります。また、適切な人材確保のため関係職種の養成機関や学校への訪問などを行います。更に、人と関わる事業であることをふまえ、利用者の要望に適切に対応できる人間力の醸成に努めていきます。

事業経営では、前回の介護報酬の改定で経営母体である特養の介護報酬が3%減額となり、平成27年度の改定においても更なる主要事業の減額が行われます。この2年間の経営努力により、在宅サービス部門では支援者数や利用率が大幅に向上しましたが、引き続き施設入所サービスでは入退所の円滑化、在宅サービスでは新規利用者の受入れを積極的に行うとともに、施設・各事業の魅力づくりに努めてまいります。

事業方針

1. 事業団独自の質の高いサービスを提供する。

事業団として高い公益性と専門性を堅持し、地域社会に理解され、公的セーフティネットとしての役割を求められています。利用者のニーズに的確に対応した質の高いサービス提供体制を整備するとともに、事業団のスケールメリットと組織力が十分に発揮できるよう、施設サービス、在宅サービスが連携した総合的な福祉サービスを提供します。

2. 効率的な人事管理と職員の資質向上・人材育成を行う。

サービスの担い手である職員の能力向上は、サービスの質の向上と直結しています。職員一人ひとりが自己研鑽に努め、意欲を持って働くことができる魅力のある職場づくりを行います。また、多種多様なマンパワーを発揮できる専門職と、次代を担う人材を育成し組織力を向上します。

3. 自立的経営基盤の確立を図る。

制度の改正や規制緩和による民間事業者の参入などにより、競争原理に立った事業運営が求められています。社会福祉事業者として、安定的、継続的に事業を推進していくために、事業の拡大と新たな事業の創出を行います。また、職員一人ひとりが経営に責任を有することを認識し、計画性、効率性、採算性を高めます。

1. 総務課

- ① 事業の発展、充実、拡大に努めます。
- ② 予算の適正な執行に努め透明性のある経営を行います。
- ③ 職員の定着を図り、人材育成に努めます。
- ④ 委託業務に関して費用の適正化をはかります。建物及び設備等の適正な管理、見直しを行います。

2. 秩父市特別養護老人ホーム 偕楽苑 秩父市特別養護老人ホーム 偕楽苑 短期入所生活介護事業所

- ① 一人ひとり誰もが生きがいを感じ、笑顔あふれる暮らしの場を利用者と共に創造します。
- ② 個人史と人との繋がりを尊び、ご家族や地域との関係を大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。
- ③ 生活困難者等への支援において、迅速かつ適切に対応することで施設機能を最大限、地域に還元します。
- ④ 専門機関、専門職としての誇りを持ち、組織として研鑽を積み、謙虚に実践の向上に努めます。

3. 秩父市立養護老人ホーム長寿荘

- ① 全職員で現状課題を把握し、健全な施設運営を図ります。
- ② 専門機関・専門職として、常に改善改革に取り組み、質の高いサービスを提供します。
- ③ 温もりのある施設生活の中で、ご家族や地域との繋がりを大切に、地域社会の一員としての暮らしを実現します。

4. 蒔田デイサービスセンター

- ① 利用者、家族、関係者及び地域がもつ福祉サービスに対するニーズに沿った事業を展開していきます。
- ② 人事考課を適性に行い、より質の高いサービスの提供と組織の活性化を実現します。
- ③ 将来においても利用者に安定したサービス提供ができるよう努力を行ないます。

5. 秩父市ヘルパーステーション

- ① 利用者の自立度や障害特性に合わせたサービスを提供できるよう、職員の資質向上を図ります。
- ② 利用者及び利用者家族や地域との連携を深め、社会参加を推進します。
- ③ 高齢者及び障害者の積極的な利用受け入れを行い、安定した事業所の運営を行います。

6. 高篠デイサービスセンター

- ① 自主・自立した経営を実現するため、効率的な施設運営を行います。
- ② 介護のプロとして質の高いサービスを提供します。
- ③ 併設された福祉交流センターと協同し、地域の福祉活動の拠点となるべく、積極的な活動を実施します。

7. 秩父市上吉田デイサービスセンター

- ① 共通の課題認識をもち全職員で施設運営に参画します。
- ② 支援困難事例や重度の利用者の受け入れを積極的に行い専門職として質の高いサービスを提供します。
- ③ 近隣の地域の人との関係を構築していきます。地域に密着したデイサービスを実現します。

8. 秩父市社会福祉事業団 居宅介護支援事業所

- ① 市町村・包括支援センター及び医療機関との連携を継続し、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等も継続的に行います。
- ② 専門的な知識を深め、ケースワークの技術を更に高めることで、個人の生活の質が向上できるような支援を行います。
- ③ 平成27年度介護保険法改正及び報酬改定への理解を深め、柔軟に対応していきます。

9. 高齢者相談支援センター

- ① 地域に密着した事業展開を行うために、地域福祉関係者等との交流を継続します。
- ② 地域住民や民生委員・在宅福祉員と共に地域の活性化を図ります。

10. 高齢者生活支援ハウス 吉祥苑

- ① 課題意識を共有し、全職員で施設運営に参加します。
- ② 生活支援員としての知識や技術を活用し、一人ひとりの更なる資質向上を図ります。
- ③ 高齢者支援ハウスに期待される役割を自覚し、安全・安心な生活を実現します。

11. 秩父市重度心身障がい者通所施設 ふあいん・ユー

- ① 関係機関との連携を図り、利用者が安心、安全を感じていただけるよう支援します。
- ② 利用者の社会参加の機会を増やし潤いのある生活を支援します。
- ③ 障がい者福祉の支援ネットワークを構築します。

【総務課】

事業計画	主な事業内容
事業の発展、充実、拡大に努めます。	<p>平成27年度の介護報酬改定の基本的考え方を十分に理解し、新たに指定管理者の指定を受けた施設の効率的な運営を行います。</p> <p>障がい者福祉サービスの事業の拡大に向けて、利用者のニーズに合わせた支援ができるよう、相談支援事業などの開設準備を行います。</p> <p>防災マニュアルに基づき、災害時の備えを行い、必要な業務が継続できるよう危機管理体制の向上を図ります。</p> <p>事業団の存在をより多くの方に知っていただくよう、ホームページなどを利用して様々な情報を発信します。</p>
予算の適正な執行に努め透明性のある経営を行います。	<p>法人全体の経費削減に向けて、定期的に予算の執行状況の確認、報告を行います。また、ホームページを活用し、決算・事業報告、入札等の情報を公開します。</p> <p>平成27年度当初予算からの新会計基準導入にあたり、基準に沿った適確な事務処理を行います。</p>
職員の定着を図り、人材育成に努めます。	<p>人材育成の具体的な計画を策定するとともに、人事考課制度、目標管理制度及びスキルアップ研修の一体的な運用を行いながら、人間性豊かで専門性の高い職員の育成に努めます。</p> <p>個々の職員専門性を向上させるため、職員の資格取得に対する支援を行います。</p>
委託業務に関して費用の適正化をはかります。建物及び設備等の適正な管理、見直しを行います。	<p>建物及び設備に関して、修繕及び機器更新を計画的に行います。また、施設に関する大規模改修工事については、秩父市と協議を図りながら準備を進めます。</p> <p>給食業務のさらなる質の向上とコスト削減を目指し、給食業務の在り方について見直しを行います。</p>

【秩父市特別養護老人ホーム偕楽苑】
【秩父市特別養護老人ホーム偕楽苑 短期入所】

事業計画	主な事業内容
一人ひとり誰もが生きがいを感じ、笑顔あふれる暮らしの場を利用者と共に創造します。	<p>利用者自治会（なかよし会）において、生活の希望や生活課題への意見を受け止め、利用者の思いに添った暮らしを実現します。</p> <p>行事、レクリエーションや趣味活動等に取り組み、生きがいづくりを行います。</p> <p>利用者一人ひとりの特技を活かしての活動や、利用者の支え合い等を支援し、主体的な暮らしの場を実現します。</p>
個人史と人との繋がりを尊び、ご家族や地域との関係を大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。	<p>広報誌「ほのぼの偕楽苑だより」の発行、フェイスブックの活用、日々の暮らしの写真の掲示等を通じ、施設での暮らしを知っていただくことで、ご家族にとって施設が身近なものとなるよう取り組みます。</p> <p>食事会やその他行事にご家族に参加いただく機会を増やすことで、家族関係を深めると共に、施設生活の充実にご家族の協力もいただきながら取り組みます。</p> <p>利用者、またその家族の希望に寄り添い、外出・外泊の支援や地域行事への参加等を行うことで、新たな人との繋がりや地域との繋がりが構築できるよう取り組みます。</p>
生活困難者等への支援において、迅速かつ適切に対応することで施設機能を最大限、地域に還元します。	<p>秩父市をはじめとした行政機関や包括支援センター等との連携を密接に持ち、虐待等の緊急ケースに迅速に対応します。</p> <p>重度認知症者や医療ニーズのあるケースについても積極的に受け入れます。</p> <p>特養入所利用率98%以上、短期入所利用率90%以上を実現します。</p>
専門機関、専門職としての誇りを持ち、組織として研鑽を積み、謙虚に実践の向上に努めます。	<p>食べることの喜びが感じられるよう、ゆったりとした食事場面をつくります。また、一人ひとりの嗜好や食事摂取状況にあった食事提供を行い、食生活の充実に努めます。</p> <p>嘱託医との連携を適切に行います。また、日々の健康観察を行い、その情報をしっかりと共有することで健康増進に努めます。</p> <p>個別機能訓練計画に基づき、他職種との連携のもとリハビリを実践し、身体機能の維持に努めることで、安全に可能な限り自立した生活が送れるよう取り組みます。</p> <p>定期的な歯科往診と歯科衛生士の指導・助言に基づき、口腔ケアに取り組むことで健康づくりにつなげます。</p> <p>グループでのゆったりとした入浴場面の提供や個別性を重視した快適な排泄環境を整えることで、安楽な生活が送れるよう取り組みます。</p> <p>苑内美化やさわやかな空間づくりに取り組み、心地よく生活できる環境を実現します。また、個別の身体状況等に応じ生活環境を整えることで、安全な暮らしの場を実現します。</p> <p>認知症の専門研修、人権擁護、事故防止、感染症に関する研修等を行うことで、知識の共有と深化をはかり、職員の資質向上に取り組みます。また、資格取得に向けての気運を醸成し支援します。</p> <p>職員間の意見交換を活発に行うことで、一人ひとりの思いを実践の中に活かし、各人のやりがいを高揚し、組織として研鑽を深めます。</p>

【秩父市立養護老人ホーム長寿荘】

事業計画	主な事業内容
全職員で現状課題を把握し、健全な施設運営を図ります。	入所利用率98%以上を目標とし、安定した運営を図ります。
	諸経費のコスト削減に努め、適切な事業運営を図ります。
	秩父市をはじめ、入所措置機関等との円滑な連携に努め、社会資源の一つとして地域社会に貢献します。
専門機関・専門職として、常に改善改革に取り組み、質の高いサービスを提供します。	職員間、職種間の情報共有をしっかりと行い、チームケアを実践することで、質の高いケアの実現に努めます。
	小さな体調変化をしっかりと観察し、嘱託医を中心とした医療機関との連携を深めることにより、入所者の健康管理に努めます。
	身体状況の把握、生活環境の整備、事故防止策の分析などに取り組み、安心で安全な生活の場を構築します。
	要介護者が必要な介護サービスが利用できるよう関係機関と協力し、入所生活が維持できるよう支援します。
温もりのある施設生活の中で、ご家族や地域との繋がりを大切にし、地域社会の一員としての暮らしを実現します。	入所者の思いやそのおかれた状況を鑑みて、明るく家庭的な雰囲気施設の生活を通して、その人らしい生活の実現に努めます。
	自治会議の開催を通じ、入所者の声に耳を傾けることで、入所者の声を外出、行事、レクリエーション、趣味活動等に反映します。
	広報誌「ふれあい長寿荘だより」の発行や、日頃の生活状況の報告、相談の実施等により、ご家族との繋がりが深まるよう努めます。
	ボランティア、慰問等の受け入れ、地域行事への参加を通じて地域交流、社会参加の機会が持てるよう努めます。
	入所者の施設内作業を促進し、働くことの喜びと共同生活の喜びを感じることができ、生きがい広がるよう支援します。

【蒔田デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
<p>利用者、家族、関係者及び地域がもつ福祉サービスに対するニーズに沿った事業を展開していきます。</p>	<p>利用定員拡大に伴い、積極的に利用希望を受け入れ利用率の向上、定員80%を目標とすると共に、諸経費等のコスト削減に努めます。</p>
	<p>より多くの方々に利用して頂けるよう地域にある人や物などあらゆる資源を活用して、特色のあるサービスの提供に努めます。</p>
	<p>事業所独自の『強み』をアピールするため、「独自の強み」に気づき、他事業所との差異性をあらゆる場面で訴求できるよう努めます。</p>
	<p>広報誌・ホームページ等で広く活動内容を情報発信します。</p>
	<p>居宅介護支援事業所、地域支援センター、医療機関、家族等と情報交換を密にして連携を図ります。</p>
<p>人事考課を適性に行い、より質の高いサービスの提供と組織の活性化を実現します。</p>	<p>職員の資質の向上に資するため研修を積極的に行います。また、それぞれの事業所及び職員が持つ情報や知識を組織全体として活かすことができるよう努めます。</p>
	<p>事業所間相互の協力体制を確立し、各事業所との連携をとり、業務の効率化を図れるよう努めます。</p>
	<p>安全衛生委員会を通じて安全で快適な職場環境の整備に努めます。また、職員のモチベーションを低下させないよう、メンタル面のフォローを含め心の健康管理に努めます。</p>
	<p>OJT・OFFJT、自己啓発等の行ないやすい体制づくり、資格取得に向けた支援体制の充実に努めます。</p>
<p>将来においても利用者に安定したサービス提供ができるよう努力を行ないます。</p>	<p>制度の動向・方向性を的確に把握し、職員に分かりやすく周知するよう努めます。</p>
	<p>事業所の稼働状況を定期的に分析し、適正な収入が確保出来るよう努めます。</p>
	<p>職員一人ひとりに至るまで共通の意識と目標が浸透した職場づくりに努めます。</p>

【高篠デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
<p>自主・自立した経営を実現するため、効率的な施設運営を行います。</p>	<p>各利用日の登録者数（利用予定者数）定員80%を目標とし、収益の増加を図ります。</p>
	<p>利用者数等の状況に合わせ、効率的かつ弾力性を持った人員体制を定めます。</p>
	<p>物品等に係る諸経費を見直しコストの削減を図るとともに、必要な経費については適切に執行できるよう、計画的な物品購入等を行います。</p>
<p>介護のプロとして質の高いサービスを提供します。</p>	<p>年間計画に基づいて研修等を行い、専門知識を高め、職員個々の介護力の向上を図ります。</p>
	<p>生活相談員、看護職員、介護職員が一体化し、チームによる介護を提供できるよう、役割分担等を定め適切に実行します。</p>
	<p>ケアプランに基づいた通所介護計画を作成し、計画に沿った質の高い個別援助サービスを提供します。</p>
	<p>模擬試験や講習などの情報提供を行い、職員が介護福祉士、介護支援専門員などの福祉系の資格を取得できるよう支援します。</p>
<p>併設された福祉交流センターと協同し、地域の福祉活動の拠点となるべく、積極的な活動を実施します。</p>	<p>地域包括支援センター、居宅支援事業所、医療機関等と連携し、サービス利用者が一日も長く在宅生活を継続できるよう支援を行います。</p>
	<p>高篠地区の方も参加できる行事等を実施し、地域の方にも楽しんでいただける場を提供します。</p>
	<p>年4回発行の広報誌に加え、ミニ情報誌の作成を行います。事業団のSNSを利用し、インターネットを用いた情報発信を積極的に行います。</p>

【上吉田デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
<p>共通の課題認識をもち全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>日々の光熱水費の使用状況を把握し、節電・節水に努めます。必要物品について検討し諸経費等のコスト削減を図ります。</p>
	<p>利用者数等、状況に合わせた勤務体制により効率的な人員体制を定めサービスの向上を図ります。</p>
	<p>在宅生活が可能な限り継続できるような支援を行い、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等との連携を図ります。</p>
<p>支援困難事例や重度の利用者の受け入れを積極的に行い専門職として質の高いサービスを提供します。</p>	<p>コミュニケーション技術、介護技術を習得し、職員一人一人のスキルアップを図ります。どのような利用者の支援も的確に行います。</p>
	<p>運動機能向上プログラムの実施により身体機能を維持し、可能な限り在宅で生活が出来るよう支援していきます。</p>
	<p>緊急時の対応、事故防止、認知症についての研修を実施し職員の資質の向上を図ります。利用者に安心、安全なサービスを提供していきます。</p>
	<p>月1回、ミーティングを実施し利用者の状況、事業所内での課題を検討し事業所全体のサービスの質を向上していきます。</p>
<p>近隣の地域の人との関係を構築していきます。地域に密着したデイサービスを実現します。</p>	<p>地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を担います。</p>
	<p>広報誌、ホームページなどで活動内容を情報発信していきます。ケアマネージャーへのアプローチを積極的に行い利用率90%以上を目指します。</p>
	<p>近隣の吉田地域や小鹿野への外出を実施し地域との交流、つながりが深められるようにしていきます。</p>
<p>その人らしさを大切に幸せを感じる事ができるようなデイサービスを全職員で創造します。</p>	<p>全職員でレクリエーション活動を考え作業分担などを協力して行います。</p>
	<p>利用者の個別ニーズに合わせた外出やレクリエーションを実施することにより個別支援の充実を図ります。</p>
	<p>ボランティア、慰問の受け入れを積極的に行い地域、世代間の交流を深めていきます。</p>

【秩父市ヘルパーステーション】

事業計画	主な事業内容
<p>利用者の自立度や障害特性に合わせたサービスを提供できるよう、職員の資質向上を図ります。</p>	<p>医療・福祉・介護等に関する外部研修への参加、実務に関連する内部研修を開催し、職員のスキルアップを図ります。</p>
	<p>月1回のミーティングを開催し、利用者の情報共有、支援内容の確認、報告・連絡・相談の場とします。</p>
	<p>介護福祉士等の国家資格や障害者支援に関連する資格取得をサポートし、事業団の専門機能を高めます。</p>
<p>利用者及び利用者家族や地域との連携を深め、社会参加を推進します。</p>	<p>関係機関との情報交換等を行い、連携を強化することで、発生する課題の迅速な解決を図ります。</p>
	<p>利用者及び家族に対し支援内容を解りやすく丁寧に説明し、意向や希望を尊重した支援を行います。</p>
	<p>利用者・家族等へ様々な情報を発信できるよう、広報誌やホームページの充実を図ります。</p>
<p>高齢者及び障害者の積極的な利用受け入れを行い、安定した事業所の運営を行います。</p>	<p>支援困難ケースや緊急ケースを積極的に受け入れるため、事業所に滞在するヘルパーを配置し迅速な対応を行います。</p>
	<p>訪問者数の増加（目標80名）を図り、230万円以上の収益を目指します。</p>

【秩父市社会福祉事業団 居宅介護支援事業所】

事業計画	主な事業内容
<p>市町村・包括支援センター及び医療機関との連携を継続し、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等も継続的にを行います。</p>	<p>困難ケースや緊急ケースの受け入れを積極的に行い、各個人がその人らしい生活が送れるように支援します。</p> <p>今年度中に180件以上の総支援者数を達成します。</p> <p>介護保険委託業務の認定調査を実施します。</p> <p>介護保険委託業務の予防支援の委託受け入れを積極的に行います。</p> <p>認定審査会への出席を継続して行います。</p> <p>市町村及び各包括支援センター、医療機関や介護保険事業所との情報交換を行い更なる連携強化を図ります。</p>
<p>専門的な知識を深め、ケースワークの技術を更に高めることで、個人の生活の質が向上できるような支援を行います。</p>	<p>地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスの把握を行うことで、ケースワークの質を高めます。</p> <p>介護支援専門員更新研修及び主任介護支援専門員研修、県・市町村・各事業所の主催する研修へ積極的に参加し、専門的知識の向上に努めます。</p>
<p>平成27年度介護保険法改正及び報酬改定への理解を深め、柔軟に対応していきます。</p>	<p>「特定事業所加算Ⅱ」の算定を継続できるよう、算定要件を理解し、体制・支援内容等の維持や変更を行います。</p> <p>計画的な研修計画を介護支援専門員へ実施します。</p> <p>包括支援センター等から依頼された困難ケース等の事例にも積極的に受け入れを行います。</p> <p>「運営基準減算」や「特定事業所集中減算」等の適用を受けないよう適正な事業運営を継続します。</p> <p>法改正及び報酬改定への理解を深め、様々なケースにも柔軟に対応することができるようにします。新規導入される「介護予防・日常生活支援総合事業」「地域包括ケアシステム」「地域ケア会議」等へ柔軟に対応することで、各市町村における制度開始時期に合わせていけるよう対応していきます。</p>

【高齢者相談支援センター】

事業計画	主な事業内容
地域に密着した事業展開を行うために、地域福祉関係者等との交流を継続します。	民生委員や在宅支援員との連携強化することで、地域の実態を把握します。
	民生委員や在宅支援員等を対象とした、相互の理解を深めます。
地域住民や民生委員・在宅福祉員と共に地域の活性化を図ります。	担当地域において福祉サービスを必要としている方に対して、相談や援助を迅速に行います。

【秩父市立上吉田高齢者生活支援ハウス 吉祥苑】

事業計画	主な事業内容
課題意識を共有し、全職員で施設運営に参加します。	職員会議、研修への参加を通じて、情報の収集・共有を図り、適宜課題を検討していきます。
	日々の光熱水費の利用状況を把握し節電・節水に努めます。物品の購入については必要性を検討し歳費の抑制を図ります。
	入居率の向上を目指し地域住民、民生委員、ケアマネージャーへ情報発信を行います。
	施設設備の保守など適正な管理を行います。
生活支援員としての知識や技術を活用し、一人ひとりの更なる資質向上を図ります。	入居者のニーズに応じたレクリエーション活動を実施し笑顔があふれる生活の場を提供していきます。
	地域内の社会資源を把握し、入居者が自立した生活が送れるよう、生活上の相談や助言を行います。
高齢者支援ハウスに期待される役割を自覚し、安全・安心な生活を実現します。	秩父市、包括支援センター、居宅介護支援事業所など関係機関との連携を図ります。
	入居者の生活上のニーズを把握し、すみやかに課題解決が図れるよう支援します。
	消防訓練や緊急時の対応についての研修を実施し緊急時対応についての強化をはかります。

【秩父市重度心身障がい者通所施設 ふあいん・ユー】

事業計画	主な事業内容
<p>関係機関との連携を図り、利用される方々に安心、安全を感じていただけるよう支援します。</p>	<p>利用者の体調の変化には細心の注意をはらい、迅速かつ適切に対応します。</p>
	<p>定期的な勉強会を開催し、医療ケアを必要としている障がい者への理解を深め、医療ケア関連の事故を未然に防ぎます。</p>
	<p>ヒヤリハット及び事故報告があった際には、迅速に職員による検討を行います。</p>
	<p>施設設備の補修、修繕などが必要となった際には、秩父市障がい福祉課へ報告し、適切かつ迅速に対応します。</p>
<p>利用者の社会参加の機会を増やし潤いのある生活を支援します。</p>	<p>地域のイベントへ参加をしながら、様々な方々との交流を図り、潤いのある生活を支援します。</p>
	<p>地域のボランティアの活用を促進します。</p>
	<p>個別での外出支援を実施します。</p>
<p>障がい者福祉の支援ネットワークを構築します。</p>	<p>秩父市障がい者福祉課をはじめ、各相談支援事業所と連携を図り、利用者が安心して利用できるよう、日頃からの関係づくりを行います。</p>
	<p>相談支援専門員と更なる連携を図り、定期的なサービス担当者会議を開催し、専門職の意見や支援を個別支援計画に反映させ、計画に基づいた総合的な支援を行います。</p>
	<p>秩父地域自立支援協議会や秩父特別支援学校での会議へ参加し、地域の課題や実情把握及び、情報の共有化を図ります。</p>
	<p>定期的に家族懇談会を開催し、ご家族の要望の聞き取りを行います。</p>